2018年12月号

一般社団法人
北海道歯科医師会
北海道歯科医師会HP https://www.hokkaido-shikaishikai.com

Hokkaido Dental Association "Doushikai Tsushin"

D.NEWS

釧路 KUSHIRO

くしろ健康まつり
日時：平成30年10月21日
　　午前９時から午後３時
場所：釧路市観光国際交流センター

釧路らしい秋晴れの中、釧路市か主催するくしろ健康まつりが行われた。震災の影響で延期された『釧路大漁どんぱく』と同日開催となったため、多くの市民が来場された。

歯科ブースでは、会員による歯科健診、歯科相談、健康川柳、8020表彰式、咬合力測定、口臭測定、顕微鏡によるプラーク検査、オーラルフレイル健診、口腔がん検診が行われた。また、歯科衛生士会によるブラッシング指導、幼児対象に『みんなで歯みがきピッカピカ～カルタでGO～』が披露され子どもたちも楽しんで参加していた。また、8020表彰は20名の方々が対象となり表彰された。

歯科医師会員ならびに歯科衛生士会会員により、歯の大切さを大勢の市民に啓発することができた一日だった。

釧歯会会員から30名。歯科衛生士会から17名の参加があった。みなさんお疲れ様でした。　（窪田正樹 記）

創立70周年記念事業
（記念講演・記念式典・祝賀会）
日時：平成30年10月27日(土)
　　午後２時より
場所：ＡＮＡクラウンプラザホテル釧路

釧歯会創立70周年記念事業として、釧路生まれの直木賞受賞作家、桜木紫乃 さんをお招きし、トークライブ『小説と歯のおはなし』と題して、聞き手のFMくしろの大津桃子 氏と共に記念講演が開催された。講演では、紫乃さんご自身の歯のエピソードを楽しくお話していただいた。また、紫乃さんから中谷会長に質問されるなど会場は終始なごやかで、300席を埋めていた観客も大盛況、あっという間の２時間だった。

記念講演会に続き、同会場にて記念式典が行われた。岡田（実）専務理事の司会で辻副会長の開会の辞の後、出席賜った16名の来賓が紹介された。続いて中谷会長が式辞を披露し、祝辞を道歯会　藤田会長、釧路市　蝦名大也 市長に賜った。その後、記念感謝状が釧路市医師会、釧路薬剤師会、北海道歯科衛生士会釧路支部、釧路歯科技工士会の計４団体に贈呈された。また、歴代会長、副会長、終身会員の計18名に功労者表彰も行われ、受賞者代表として中村正利 先生が挨拶をされた。祝電披露の後、辻　副会長の閉会の辞で式典は閉会した。

引き続き、祝賀会が行われた。厳かに釧路交響楽団 弦楽四重奏による祝宴ではじまり、中谷会長の挨拶の後、実行委員広報部より『この10年を振り返って（60周年～70周年）』と題し、スライドショーが披露された。

祝杯の発声を釧路市医師会　久島貞一 会長よりいただき、祝宴となった。なごやかに宴は進み、釧路薬剤師会　田中和紀 会長から万歳三唱の発声があり、辻　副会長からの閉会のことばで会が閉じられた。（中谷　光 記）

札幌 SAPPORO

高齢者の歯のコンクール審査会・表彰式
日時：平成30年９月１日(土) 午後１時より
場所：札歯会館

札歯会館において「高齢者の歯のコンクール審査会・表彰式」が開催され、「さっぽろ歯っぴいらんど2018」の8020表彰参加者より選ばれた６名にお集まりいただいた。当日は口腔内診査の後、表彰式を行い、全員に札幌市ならびに本会より表彰状と記念品が手渡された。

この日の口腔内診査の結果をもとに「高齢者の歯のコンクール全道大会」に推薦する札幌市代表１名が選出される予定。　（高橋一行 記）

北見 KITAMI

第31回北見学会
日時：平成29年10月20日(土)
　　午後３時30分から午後７時10分
場所：北歯会館

「ペリオ治療はバイオロジー、どの患者さんにも同じ治療をしていませんか？」と題し大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座 予防歯科学・教授　天野敦雄 先生をお招きし特別講演が行われた。

21世紀の歯科治療には「削る・詰める」に加え、「防ぎ・守る」健康増進医療の導入が求められ、健康を守るためには、歯周病との対峙が不可欠だ。歯周病菌は18歳以降に口腔内に感染し、その後、歯周局所環境の変化とともに長い年月を掛けてバイオフィルムの病原性は徐々に高まり歯周炎が発症する。歯周病の病因論を正しく理解できれば、無駄のない歯周治療ができる。患者さん個々によってバイオフィルムの病原性は違い、高病原性のバイオフィルムか低病原性のバイオフィルムかを見極めることによりバイオフィルムの病原性をコントロールでき、「防ぎ・守る」ペリオマネージメントが可能になると仰っていた。

実際、治療には患者さんとの二人三脚が必要で　望んでいるものだけを、親しくなろう、目先のゴールは低く、病状を納得させる説明力、結果を残せる技術等のポイントも教えて頂き明日からの歯科治療にも役立てていきたいと思った。

その後一般口演として、「天然歯とインプラントの共存とは」大島歯科医院　大島康男先生、「高度に吸収した顎堤に対しGBRを併用してインプラント治療を行った１症例」いのこ歯科医院　猪子光晴 先生の口演が行われた。　（丸子修史 記）

北見市学校保健会講演会
北見歯科医師会市民歯科健康講座
日時：平成30年10月21日(日)
　　午前10時30分より
場所：北見市民会館

標記講演会を大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座 予防歯科学分野教授　天野敦雄 教授をお招きし開催された。

この講演会は、教育関係者や歯の健康に関心のある一般市民の方々を対象に、「予防歯科から予測歯科へ」と題し、歯周病の話を中心に行われた。

健康長寿は、健康な歯で美味しく栄養を摂取出来ることにより成り立ち、健康な歯を維持するためには「かかりつけ歯科医」を持ちましょうという話をはじめにされた。

歯周病は、人類史上最大の感染症で、いつどこで感染するのか、感染した菌を特定することにより将来が予測できる。一度感染すると完全に除去することはむずかしいが、定期的に通院し口腔内細菌量をコントロールすることにより、重篤な歯周病の発症を阻止出来ることがわかっていると講演された。

軽妙な大阪弁でとても印象に残る講演会だった。　（藤井　大 記）

稚内 WAKKANAI

社保講習会
日時：平成30年10月27日(土)
　　午後３時30分より
場所：稚内総合文化センター

晩秋の稚内にて道歯主催の社保講習会が開催された。

講師は道歯会 中川常務理事がはるばるお越しくださり、平成30年度の診療報酬改定に伴う留意事項について資料に基づき解説していただいた。今回の改定では新たな施設基準が設定されるなど請求業務が複雑化してきており、我々保険医は日々の業務を行う上でレセコンだけでなく自身のアップデートも必要となってきている。よって保険講習会の受講はマストであり、当会の会員の先生方にもっと出席していただければと思う。

（三浦佐和子 記）

美唄 BIBAI

平成30年度地域医療介護総合確保対策事業
「歯科医療従事者認知症対応力向上研修セミナー」
日時：平成30年10月27日(土)
　　午後２時から午後５時
場所：美唄市総合福祉センターぽぷら

講師の方の到着に影響が出るほどの天候の中、美歯会の他、空知旭川などの歯科医師会を含め14名の参加で開催された。

講演は３部構成で「歯科における早期発見の重要性と事例紹介」道歯会　沖津理事、「認知症の早期発見における福祉職等との連携の意義とその実際」北海道介護支援専門員協会　村山文彦 会長、「歯科医師と歯科衛生士が知っておくべき認知症の基礎知識と歯科的対応の要点」東京都健康長寿医療センター研究所　枝広あや子 先生が道歯会小谷常務理事の座長のもと講演された。

小会場であったが、講師との距離が近く質問もしやすく聞きやすいセミナーであった。認知症患者さんが増えていく今日、どの講演も目の前に来ている課題に大いに役立つものであった。　（寳崎さゆり 記）

第105回美唄市三師会講演会
日時：平成30年10月31日(水) 午後３時より
場所：コアビバイ 市民ふれあいサロン
演題：「唾液のお話」

標記講演会が開催された。今回は美歯会担当で上記演題にて滑川が講演した。

はじめに各唾液腺の説明、そして分泌される唾液の役割を①飲食に関する働き、②口腔や身体の環境を守るための働きの二つに分けて説明した。続いて唾液検査の実際（現在行われているう蝕、歯周病関連検査などに加え全身疾患の診断やリスク判定など）や唾液量を増やすための方法などを解説し、最後には当院で行なっている唾液腺マッサージのデモ映像を流し参加者に実演してもらった。

時間は１時間程度でしたが有意義な講演となった。　（滑川貴彦 記）

留萌 RUMOI

平成30年度 道北地区役員連絡協議会
日時：平成30年10月20日(土)
場所：るもい健康の駅

旭歯会、稚歯会、留歯会による連絡協議会が開催された。

道歯会から藤田会長、西　副会長、大西専務理事が出席され、当会会長　川上宣之の挨拶に続き、藤田会長に挨拶をいただいた。

各歯科医師会における会員状況、活動内容等の報告の後、道歯会により中央情勢等が報告された。その後、協議事項に移り、旭川地域歯科医療連携室の活動報告を交え、地域包括ケアシステムの可能性について議論された。

また、各種会議における平日開催、旅費規程など、遠方の郡歯会を考慮してほしい旨の要望がなされた。　（江畑育太郎 記）

千歳
CHITOSE

道歯会主催 歯科医療従事者認知症対応力向上研修セミナー
日時：平成30年９月29日（土）
　　午後２時より
場所：エニケンビル ３階 会議室

近年、介護の分野で認知症も大きくクローズアップされている。

また、我々の歯科治療の現場においても認知症の患者に遭遇し、その対応に迫られることが少なからずある。おそらく以前からそういった患者は来院していたと思うが、“話の通じない人”“挙動不審な人”と片づけられていたのかもしれない。

今回は３人の方々にそれぞれの立場から講演いただいた。

まず最初に「認知症の基礎知識と歯科的対応」と題して地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所 枝広あや子 先生に講演いただいた。

まず認知症の基礎知識として３大認知症 ①脳血管性認知症Vad ②アルツハイマー型認知症AD ③レビー小体型認知症DLBに分類される。その原因疾患は100以上におよぶ。症状としては記憶障害など中核症状と徘徊などの周辺症状に分けられる。そして認知症の人に対する医療機関の役割として ①気づく（認知症を理解し、徴候などに気づく）②つなぐ（認知症診療、ケア、必要なサービスを連携して提供）③支え続ける（周囲の人が認知症を理解し、患者や家族を支援していく）この３つ柱を基本に「早期発見、早期治療」よりも「早期診断、早期対応」が重要で完全に治る病気ではないので、治療ももちろん大事ですが、早期に困っている事を整理し、対期段階で適切なサポートを行い、社会生活が送れるように支援していく事が必要とのこと。

また、歯科医院での対応としてはまず①来院時の様子をcheck（服装、身だしなみ等）②対応している中での変化など、早期から継続的なかかわりによって、その変化に気付きやすい。さらに認知症患者への対応方法としては①異変に気付いたら声をかける ②積極的に傾聴する ③ゆっくりと、はっきりと、簡潔に話をする ④言葉だけではなく、視覚情報でわかりやすく ⑤無言で治療しない（不安にさせない）など常にリラックスさせ不安を軽減させることが大事。

２人目は一般社団法人 北海道介護支援専門員協会会長 村山文彦 氏が「認知症の早期発見における福祉職等との連携の意義とその実際」と題し、講演いただいた。

内容としてはケアマネージャーをはじめ多職種との連携をし、医療面でのサポートと生活面でのサポートを充実させ、①生活機能の維持 ②家族への負担軽減 ③早期発見、早期対応の重要性について話された。

３人目は道歯会 沖津理事で歯科医師の目線からの注意点について講演された。

①より早期からの継続的なかかわりによって変化に気づく。

②早期に気づき、他職種又は行政につなぐ役割を担う

また、歯科医院内での対応、継続的な治療のための留意点として

①話の通じない人で終わらせずに自己を尊重する

などスライドを交えながらわかりやすく説明された。

今後、認知症患者は増加の一途をたどると思われる。その時に我々歯科医師は忙しさにかまけてその“サイン”を見逃さないように早期診断、早期対応の重要性を理解し連携の一翼を担えるように認知症への理解を深めていかなければならない。

（髙津良二 記）

千歳会主催 社保講習会　2018秋
日時：平成30年10月12日（金）
　　午後７時より
場所：エニケンビル ３階 会議室

標記講習会が開催され、はじめに保険担

当理事の宮口先生から「健康保険証の資格証明書を使用した不正受診には気を付けてください」とのお話があり、講師に道歯会 井谷秀朗 常務理事をお招きし、解説していただいた。

口腔内装置算定の際の注意事項、高額療養費の上限額の見直しによる所得区分の特記事項記載、指導・監査等の実施状況。院内掲示物、新設された施設基準や処置などについての解釈や算定方法、算定誤りの多い例。指導に対応、法的に耐えうるカルテ記載について説明があった。（山本孝之 記）

野球部秋季練習試合　2018
日時：平成30年10月14日（日））
場所：前田公園野球場（札幌市手稲区）

今年最後の練習を兼ねた千歳会野球部による練習試合が行われた。

直前に対戦相手である業者様が地震の影響や新人研修、取り付けなどでキャンセルになり、参加人数が当チームだけでは足りないことがわかり、急遽不参加予定だった先生にもお願いし参加してもらうことになり、当日集まった先生方は総勢14人！そこに平中先生Jr、藤井先生Jr、私の息子を加え、なんとか17人となり、足りないポジションは手の空いている選手が補うことで試合にこぎつけた。

今回は杉江先生と水戸先生でドラフト会議を行い、杉江先生率いる選抜チームと水戸先生率いるスーパースターチームに分かれてプレイボール！！

宮口選手の好投と鉄壁の守備により選抜チームがなかなか点を取れず、対する山本選手は狙い球を絞られ大量失点でスーパースターチームの勝ち。

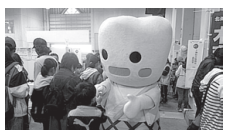
今回は、審判がいなかったので結構グダグダになったが、Jr.達が攻守に良いプレイをしてくれたのでとても盛り上がり、今年最後の練習をいい形で締めくくれたのではないでのだろうか。

そして、Jr.達は十数年後に千歳会野球部で活躍してくれることだろう！！

これからもファミリーを交えた野球大会を開催し、未来の千歳会野球部員を育てるのもありかもしれません！！！（山本孝之 記）

十勝
TOKACHI

食べる大切フェスティバル2018 in 帯広
日時：平成30年10月７日（日）
　　午前10時から午後３時
場所：アグリアリーナ（音更町）



音更アグリアリーナにおいて例年恒例の行事が行われた。これはコープさっぽろが主催する行事であり、多くの方が来場される。今年は過去最高の3,272名が来場され、出店数は50以上と台風による雨にもかかわらず大盛況だった。十歯会は地域貢献として、毎年参加している。

歯科相談、歯科医師会の活動の紹介、オーラルフレイルなどの歯科の啓発活動、帯広コア専門学校の歯科衛生士科の紹介等を行なった。例年無料サンプルを配っているため当コーナーも評判がよく約500名の来場者がいた。

当歯科医師会のメイン行事の一つであり次年次以降も続けていきたい事業である。

（大熊一豊 記）

平成30年度　医療管理講習会
～テーマ～「歯科医院を取り巻くトラブル対応について」
日　時：平成30年10月13日（土）
　　午後３時から午後５時
場　所：十歯会館 ２F講堂
講演Ⅰ：「労務管理、こんな時はどうするの？」
講　師：あお葉法律事務所　伊藤絢子 弁護士
講演Ⅱ：「歯科医師が謝る時、謝ってはいけない時」
講　師：山下史生法律事務所　山下史生 弁護士

道歯会主催の標記講習会が十勝で開催された。秋晴れで天候に恵まれ、今、話題のセミナーで有名な弁護士２名が来帯したこともあり多くの参加者（42名）が聴講し、会員の関心の高さがうかがえた。あいまいにしがちな労務管理について、開業医視点でわかりやすく詳しく話され、労働条件の明示、労働時間管理、年次有給休暇、クレーマーの対応などについて講演してくれた。

講演後のディスカッション形式での質疑応答では会員からの数多くの質問に損害保険ジャパン日本興亜株式会社の社員も加わり、とても親切丁寧に答えてくれた。

セミナーの中で「クレーマーの線引きはむずかしいが、クレーマーには謝ってはいけない！」という言葉がとても印象的だった。またスタッフの解雇には「すぐには解雇しないで話し合って退職届けを出してもらいましょう！」という忘れ

がちなことを再認識させられた気持ちだった。最後には受講証をいただき、きっとこれからの仕事に役立つ講習会となったことだろう。

（竹重和郎 記）

H30年度 医療管理講習会Ⅱ
「歯科医療接遇マナー講習会」
日時：平成30年10月20日（土）
　　午後３時から午後４時30分
場所：十歯会館 ２F講堂
講師：帯広コア専門学校　講師　林　佳奈子 先生
題目：「医療従事者としての心得、礼儀、作法について」

十歯会主催の医療管理講習会Ⅱが十歯会館で行われた。参加者42名の中、大滝会長の『Brush　up』の挨拶で始まり、今、マナー講習会で人気の帯広コア専門学校

講師・元シンガポール航空でCAをされていた林　佳奈子 先生をお呼びして「医療従事者としての心得、礼儀、作法について」を講演していただいた。

講演の内容は面白く、あっという間に90分経った。初頭効果や綺麗なおじぎの仕方、アンガーマネージメントで嫌なことがあっても６秒我慢してみましょうというためになるお話がたくさんあった。中でも「人は名前を呼ぶと幸せホルモンがでるので、患者さんの名前を必ず呼んであげましょう」という話は、なるほどと忘れがちなことを再確認させられた。

最後は成田副会長から講演を聞いたスタッフは院長先生から「変わったね」と言われることを期待している。と言葉をいただき閉会となった。参加者はとても満足そうに笑顔で帰られたので、明日からの仕事にきっと役立つ講習会となったことだろう。

（竹重和郎 記）

帯広市保健衛生功労者表彰 及び 十歯会と帯広市との懇談会
日時：平成30年10月24日（水）
　　午後７時より
場所：ホテル日航ノースランド帯広･フィオーレ

標記懇談会が開催され、米澤則寿 帯広市長をはじめ田中副市長、嶋崎教育長、帯広市の保健福祉に係る部長職および各担当職員の皆様と十歯会 大滝会長、歯科医師会各担当理事、十歯会 帯広会船津幹事長、帯広会各役員が参加し懇談を行なった。

まず、長年に渡り帯広市の保健衛生に貢献された先生に帯広市保健衛生功労者表彰が行われ、今年は大滝達哉 先生・成田安弘 先生・長瀬隆之 先生・大熊信行 先生・三浦稔呂 先生の５名の先生が表彰となった。大熊信行 先生・三浦稔呂 先生の２名の先生は、ご都合が付かず、大滝・成田・長瀬先生の３名が米澤帯広市長より表彰状の贈呈が行われた。

表彰者を代表して長瀬先生が、健診事業の移り変わりや、フッ化物洗口の普及について市に要望などについて挨拶された。

その後、米澤市長のご挨拶・十歯会 大滝会長の挨拶、十歯会 帯広会の船津幹事長の乾杯にて懇談会が開かれ、各担当者と意見交換、懇親を深め、十歯会 栗原副会長の閉会の挨拶により散会となった。市の職員と交流を深める機会として大変有意義な会であったと思う。

（大和田三朗 記）

函館
HAKODATE

『道南地域在宅歯科医療連携室主催・口腔ケア研修会』
日時：平成30年10月４日（木）
　　午後６時より
場所：函館市総合保健センター ２F

『再確認！口腔ケアの基本～実習スポンジブラシのケア＆マッサージ』と題して標記研修会が行われた。前回の函館市医師会病院で実施した『いまさら聞けない口腔ケア、実践編～スポンジブラシの効果的な使用方法～』研修会の経験から今回の参加者は、特養や老健施設・有料老人ホーム等で実際に現場で口腔ケアを行なっている介護職24名に絞って行なった。

一つの班を４名～６名とし、インストラクターとして連携室の歯科衛生士４名と私、川村を各班に配置し、進行役兼タイムキーパーは大内英樹 理事にお願いした。

前回同様、私がスライドにて「誤嚥性肺炎の予防のための口腔ケアの必要性について」表やグラフを用いて根拠を説明し、実際に高齢者に対してスポンジブラシを用いたケアの様子を動画で見ていただいた。

前回の研修会の際「座学は短い方が良い」というアンケート結果があったことから、こ

こまでを15分でまとめ、その後、術者・対象者役二人ひと組に分かれて45分間を相互実習という形で行なった。まず、認知症の対象者も増えていることからいきなり口腔に手を入れるのではなく、脱感作と唾液腺マッサージのデモを行い、安心感を与えてからケアを始めるように話し実習を始めた。口腔内が唾液で満たされるのを実感してもらい、続いてスポンジブラシを用いた粘膜清掃とマッサージの相互実習に入った。今回は通常のスポンジブラシ以外に認知機能の低下や麻痺等で含嗽ができない患者に対して、頬粘膜や口唇を排除する指にリフレケアシートを巻いて口腔内（口腔前庭付近）に添え、通常の歯ブラシでブラッシングしながら、リフレケアシートでその汚れを取り除く、という実習を取り入れた。この目的は残存歯が多い高齢者が増え、脳血管系の疾患や認知症等で口腔ケア全般に対しての認識力の低下した高齢者が増えてくると予想されるためである。今回は参加者が実際に口腔ケアを担当する介護職であったので、プロの歯科衛生士のスポンジブラシの使用方法を会得しようとする熱意が大いに感じられる研修会であった。

（川村曜補 記）

室蘭 MURORAN

社保勉強会

日時：平成30年10月５日(金)
　　午後７時30分より
場所：室歯会館 斎藤記念講堂
講師：道歯会　井谷秀朗 常務理事

道歯会より井谷常務理事をお招きし、会員の先生方40名が出席し標記勉強会が行われた。4月に改定が行われてから半年が経過しているが、初・再診料や医学管理料、在宅、検査、処置などのポイントや疑義解釈の解説も含めて説明していただいた。また、請求の中の算定ミスなど、事例を交えながら解説していただいた。

4月改正時に経過措置が設けられた施設基準のうち、10月1日以降も算定する場合には届け出が必要であり、10月10日までに届出の提出をし、受理されれば10月1日にさかのぼり算定できるとの説明があり、まだ提出をしていない方がいれば提出するよう話があった。

参加していた会員の先生方は明日からの診療に反映すべく真剣に説明を聞いていた。

（畠山雄一 記）

口腔がん検診

● 室蘭･登別会場

日時：平成30年10月20日(土)
　　午後２時から午後５時
場所：室蘭会場、室蘭市保健センター
　　登別会場、登別市総合福祉センターしんた21

● 伊達･洞爺会場

日時：平成30年10月27日(土)
　　午後２時から午後５時
場所：伊達会場、伊達市保健センター
　　洞爺会場、洞爺湖町健康福祉センターさわやか
主催：室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、
　　壮瞥町、洞爺湖町、室歯会
共催：日本口腔外科学会北海道支部

● 室蘭・登別会場

今年度も口腔がん検診が室蘭、登別、伊達、洞爺の4会場で行われることとなり、まず、室蘭、登別で行われた。秋晴れのなか若干数のキャンセルはあったが、ほぼ予定通り検診を終えることができた。

検診医として

[室蘭会場]
北川善政 先生
（北海道大学大学院歯学研究科口腔診断内科学教室 教授）
宮﨑晃亘 先生
（札幌医科大学医学部口腔外科学講座 教授）
出張裕也 先生
（札幌医科大学医学部口腔外科学講座 講師）
榊原典幸 先生
（日鋼記念病院 歯科口腔外科主任科長）

[登別会場]
永易裕樹 先生
（北海道医療大学歯学部口腔外科学 教授）
佐藤千春 先生
（北海道大学歯学部口腔診断内科学 講師）
小野貢伸 先生
（市立札幌病院 歯科口腔外科部長）

事前研修を受けた検診協力医の先生方、各自治体の担当課の職員の方々、受付を担当していただいた当会会員の先生方の協力のもと検診はスムーズに行われた。

両会場合わせて申込み総数97人で、昨年度より申し込み数が減少した。検診後の総評では検診医の先生から検診の結果報告と検診における要望などの話があった。昨年要望のあった手鏡は、今回ライト付手鏡を用意し検診医の先生からは好評であった。今後の要望としてラテックスアレルギーの方に対応すべくグローブを用意することと、問診の際にアレルギーの有無を確認した方が良いとの意見がだされた。また、例年より30代、40代の方の受診が多かったとのことで、検診医の先生からは「検診に対する意識が広がってきている傾向でとても良いのではないか」との意見もだされた。

検診終了後に検診医、検診協力医の労をねぎらい酒席がもたれた。参加者は普段直接話す機会が少ない口腔外科エキスパートの先生たちと話しお酒を楽しんだ。参加した先生たちは明日からの臨床のプラスになったと思われる。

● 伊達・洞爺会場

室蘭・登別会場に続き伊達会場、洞爺会場でも行われた。あいにくの雨で荒れた天候であったが、数名のキャンセルはでたものの予定通り検診を終えた。

検診医として

[伊達会場]
北田秀昭 先生
（函館中央病院 歯科口腔外科部長）
志茂　剛 先生
（北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系 組織再建口腔外科学 教授）
奥村一彦 先生
（北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系 組織再建口腔外科学 教授）
榊原典幸 先生
（日鋼記念病院 歯科口腔外科主任科長）

[洞爺会場]
宮﨑晃亘 先生
（札幌医科大学医学部口腔外科学講座 教授）
出張裕也 先生
（札幌医科大学医学部口腔外科学講座 講師）

申込み数が伊達会場で73人、洞爺会場で27人となり、昨年より増えた。検診後の総評、意見交換では、検診医や検診協力医となっている当会会員の先生方より感想や活発な意見がだされていた。室蘭・登別会場で指摘のあったラテックスアレルギーの件では、問診をとることが申し合わされ、グローブもラテックス以外のものが用意された。来年度も検診医の先生方からは協力をしていただくことを確認し検診を終了した。

（畠山雄一 記）

旭川 ASAHIKAWA

第66回旭川歯科医師会学術大会

日時：平成30年10月13日(土)14日(日)
場所：旭川トーヨーホテル

平成30年10月13日（土）、14日（日）の両日、秋晴れの中、標記学術大会が開催された。学術大会は現在２年に１度開催されており今回の大会は道歯会、北海道歯科技工士会旭川支部会、北海道歯科衛生士会旭川支部の共催で行われた。

大会1日目の13日（土）には開会のあと、有限会社エステティック・アート・デザイン代表取締役の木村義明 先生に「CAD/CAMで匠の技を表現する」と題して講演いただいた。現在歯科技工士の卒業生が1,000人を下回り、離職率が80％の現状を踏まえ、CAD/CAM技工が導入され始めているが、現状での問題点と利便性、正確性、発展性について話され、現時点でノーマル使用のCAD/CAMは、スキルの高い匠の技を持つ歯科技工士には到底及ばないと考えられ、ハンドメイドで精度の高い技工物を製作できる歯科技工士が調整アレンジをして、できたものに手を加えて精度を上げることが可能になってきたと締めくくった。そのあと、一般口演発表が４題行われ、薬剤師と歯科技工士から発表があり１日目を終えた。

大会２日目の14日（日）の午前中は、一般口演発表６題のあと、旭川医科大学病院栄養管理部の山内明美 栄養士長に「サルコペニアの栄養療法」と題して講演いただいた。サルコペニアのチェック方法説明のあと「健康寿命」を「平均寿命」に近づけるために治療が必要であることを話されていた。口腔機能の衰えを表すのが「オーラルフレイル」。全身の筋力が加齢とともに低下していくに伴って口まわりの筋肉も例外なく機能低下が起こる。食行動にかかわる「オーラルフレイル」は、日常の精神的・社会的な側面にも相互に影響を与えるため、患者のQOL（生活の質、満足度）を左右する可能性があり、口腔機能が衰えると咬まない、咬めないので栄養不足となり筋肉量の低下を招き、より口腔機能が低下するといったように悪循環に陥るのでよく噛んで食事をとることが大切であると締めくくった。

お昼には、北海道臨床工学技士会による「AEDの点検の必要性について」説明会があり、続いてグラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社の田村奈緒美 先生によるランチョンセミナーが行われ、知覚過敏用歯磨剤と歯周病予防歯磨剤の最新情報と患者指導への適切な選択について講演していただいた。

午後からは一般口演発表が５題、そして今年旭川医科大学医学部歯科口腔外科学講座の教授に就任された竹川政範 先生に「旭川医科大学医学部歯科口腔外科の現在と展望」と題して講演いただいた。口腔がん治療に関しては、切除不能な口腔がんに関して放射線併用動注化学療法を用い良い成績を収めている話、口腔がん切除後の歯科用インプラントを利用した顎補綴の話、歯科インプラント周囲に発生する歯肉がんの経験などをお話された。また、先生がご専門にされている顎変形症の治療では、CTデータから3Dシミュレーションをすることによって繊細な手術を安全に行えているとのことだった。旭川医科大学歯科口腔外科講座では開設以来硬組織に関しての研究が行われている。最近では幹細胞を用いた骨再生の研究を行なっており、一定の成果を上げている。今後は高い目標ではあるが臨床での幹細胞を用いた骨再生を目指したいと話されていた。近年、周術期口腔機能管理が保険導入され、旭川医大でも盛んに行われている。しかし病院歯科口腔外科のみでは人的資源に乏しく十分な口腔機能管理が行えていない現状であり、そのためには病院歯科口腔外科と地域歯科診療所との地域連携で患者に良質な医療を提供できるのではないかと話されていた。竹川先生の基礎研究から臨床まで多岐にわたるお話で、参加者は終始興味深く聞き入っていた。

２年前の大会に引き続き歯科医療従事者以外からの一般口演発表があり、歯科との患者さんを介しての歯科との関わりや、地域ぐるみで多職種と週に１回勉強会を行なっていることなども発表があった。平成年号最後の今大会では旭川歯科医師会会長賞が用意され、一般口演発表で、患者さんを介しての多職種との関わりや、地域ぐるみで多職種と週に１回勉強会を行なっていることなどを発表した定岡敏之 先生に賞状と記念品が授与された。

（森田琢博 記）

岩見沢 IWAMIZAWA

保険講習会

日時：平成30年10月27日(土)
　　午後４時から午後６時
場所：岩見沢市生涯学習センターいわなび
　　２階 研修室３、４
講師：道歯会 井谷社会保険担当常務理事

４月の改定内容を中心に、その後の疑義解釈の変更点等を中心に解説していただいた。一方、保険部（清水　学 部長）では毎年好評を得ている「少人数制」の保険勉強会を11月６・９・29日の３回、栗山・札幌・岩見沢にそれぞれ会場を設け開催する。今年のテーマは「保険と自費の絡み」を中心に今年度の改定の注意事項等を話される予定。

また勉強会後は懇親会も開かれ、保険以外にも多くの情報が交わされ、毎年有意義なコミュニケーションの場となっている。（木村　悟 記）

FMはまなす出演

日時：平成30年11月5日(月) 午後4時より

岩見沢市内および近郊に放送される『FMはまなす』（76.1 MHz）の、月曜午後4時『わくわく右まわり』第34回放送で、歯科医師のゲストとしては初めて、当会の野﨑岳央 副会長が出演した。パーソナリティの一人「菅原　新」さんは歯科技工士であり、野﨑副会長と幼馴染でもあるとのこと。この日の番組では二人の息のあった軽妙なトークにより、『8020歯っぴースマイル』をはじめとする当会の取り組みや、日本歯科医師会の活動、フッ化物の効果、歯と全身の健康、噛むことの効用「ひみこのはがいいぜ」などについてわかりやすく解説された。なお、当会の旗手一永先生も同局の他番組に定期的に出演されている。

（久恒泰宏 記）

苫小牧 TOMAKOMAI

平成30年度三師会ゴルフコンペ

日時：平成30年８月26日(日)
　　午前７時４分スタート
場所：北海道ゴルフ倶楽部 イーグルコース

医師会、薬剤師会、歯科医師会からなる三師会における親善ゴルフコンペも、今年で第59回となり、今年度は薬剤師会が主管で行われた。

今年は週末になると雨に祟られ、しかもコンペ予定日には台風19号と20号が相次いで接近してくるという不安の中で当日を迎えることとなったが、幸い台風の影響も無く、気温もどんどん上がってゴルフを行うには最高の日和となった。

苫小牧市医師会から14名、苫歯会から6名、薬剤師会から６名の合計26名の先生方が参加され、それぞれに心地よい汗をかきつつ楽しんだ１日となった。例年同様、日常の診療から解放されつつも、医療連携が叫ばれる昨今、コース上ではグリーンサミットさながらの光景も見られた。

今年は医師会の先生が優勝となったが、苫歯会では健闘むなしく５位に私が、６位榊原先生、11位 山崎先生、16位 福本先生、22位 橘　先生、23位 山岸先生となった。来年の60回大会では医師会が主管となっての開催予定である。

（豊巻裕一 記）

健康フェスタとまこまい2018

日時：平成30年９月23日(日･祝)
　　午前９時より
場所：苫小牧市民会館

昨年度より、苫小牧市主催の健康に関するイベント「健康フェスタとまこまい」へ歯科衛生士会、歯科技工士会とともに参加し、市民に向けて歯科の重要性をアピールしている。

今年は９月６日に発生した北海道胆振東部地震への被災地支援と重なってしまい、イベント出動会員の人数削減のため、歯科医師会では歯科健診のみ、歯科衛生士会ではブラッシング指導のみ、歯科技工士会では恒例の模型色塗り体験が行われた。それぞれのブースとも規模縮小せざるを得なかったにもかかわらず、多くの市民で賑わいを見せた。今年度は災害と歯科について、オーラルフレイルについて市民に説明を加えた。

来年度のため、イベント終了後には担当部員による反省会が行われ、次年度に向けての検討が早くも開始されていた。（関　俊也 記）

空知 SORACHI

医療管理講演会
日時：平成30年10月26日(金)
　　午後７時より
場所：滝川ホテル 三浦華園
演題：「当院での感染対策の取り組みと抗菌薬の使用について」
講師：砂川市立病院歯科口腔外科 医長
　　中村裕介 先生
演題：「医療事故対応･クレーム対応の留意点」
講師：札幌リアル法律事務所　弁護士
　　関口和矢 先生
　　札幌総合法律事務所　弁護士
　　野谷聡子 先生

院内感染・医療安全研修として、標記二題を講演いただいた。

中村裕介 先生には、砂川市立病院での院内感染対策の取り組みを、スライドを交えて、

①汚染された器具は、感染リスクに応じた汚染除去の方法を選択し、使用目的に合った消毒レベルまで処理する。

②針刺し事故を起こした時の対応

③抗菌薬の使用における注意

について講演いただき、明日からの日常臨床に生かせる有意義な講演になった。

引き続き、野谷聡子 先生・関口和矢 先生には、いつどんな時に起こるか分からない医療事故について、事例を踏まえて講演いただいた。

①治療前にリスクを含めた丁寧な説明をする

②事故・トラブル発生時は、細かく記録（スタッフに記録してもらう）

③金銭請求されたときは、法律家にバトンタッチする絶好の機会

もしもの時の対応について丁寧に教えていただき、日ごろからの心構えを考えさせられた。　（伊藤公博 記）

小樽 OTARU

医療管理講習会
日時：平成30年10月19日(金)
　　午後７時より
場所：樽歯会館

標記講習会が行なわれ、道歯会 森本理事の司会で、樽歯会 市村会長の挨拶からはじまり、道歯会 大橋常務理事座長の下、講習会が行われた。

あお葉法律事務所 伊藤絢子 弁護士による「労務管理、こんな時はどうするの？」、そして山下史生法律事務所 山下史生 弁護士「歯科医師が謝る時、謝ってはいけない時」の二部構成であった。

伊藤弁護士は、事例を挙げ、採用の際の注意事項、労働条件の明示、労働時間管理、残業自己申告制、年次有給休暇、有期労働契約から無期労働契約への転換など、歯科医院で見落とされてきた点について、また、山下弁護士は、歯科医療事故について、特に多く報告のある智歯抜歯、インプラント、気腫発生、誤飲などのケースにおいて判断基準、注意点についての内容であった。

日々の診療に追われ、忘れがちな部分を改めて学ぶことで、今後の診療だけでなく、歯科医院経営の一助となる講習会となった。　（細川宗靖 記）

会員学術発表会･懇談会
日時：平成30年10月20日(土)
　　午後３時より
場所：樽歯会館

標記会員学術発表会が開催され、前半は小樽歯科衛生士専門学校50期生の三原めぐみ さん、西山瑞姫 さんによる「高校生のう蝕罹患経験と口腔に対する興味の関連」の演題で発表が行われた。

口腔への興味関心、う蝕罹患率と歯科通院・生活習慣などに関するアンケート調査結果を示し、高校生への保健指導は間食指導が大切である点、う蝕の予防よりも口臭、歯並び、歯の白さなどをターゲットに指導すると効果があるのではと考察していた。予防効果や継続通院に直結する発表から会員の関心は高く、フロアからは多くの質問があり、発表に対しても高い評価を得ていた。

後半は会員学術発表会で、中川靖子 先生の「周術期における歯科介入～以下との連携～」では、歯科が周術期にどのように医療連携するかを示していた。この発表に関連して Meiji Seika ファルマ株式会社からエピシル口腔溶液について説明があり、使用での注意点などを学んだ。次いで石橋千代子 先生から「咬合再構成におけるインプラントの有効活用～長期症例～」の発表があり、多数の症例写真と咬合三角上でのエリア変化を説明し、インプラントの有用性を示していた。

発表会終了後、福祉共済委員会主催の会員懇談会が中国料理店「好」にて開催された。運河に面した歴史的建造物での本格中華料理に酒も進み、終始笑いの絶えない会食となり、会員のつながりが緊密な樽歯会らしい雰囲気の夜となった。
（山本栄治 記）

平成30年度道央西地区役員連絡協議会
日時：平成30年10月27日(土)
　　午後４時30分より
場所：おたる政寿司 本店

加藤 樽歯会副会長より開会の辞が述べられ、当番地区会長挨拶を市村 樽歯会会長が行なった。練合 後歯会会長の挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。

各歯科医師会からの報告で樽歯会からは各担当理事の仕事の現状報告、後歯会からはインターネットを利用したハングアウト等についての説明が行われた。

協議事項としては１）各歯科医師会の会務運営状況について ２）各歯科医師会における「高齢者歯科・障がい者歯科の取り組み」について ３）その他で小樽衛生士専門学校の現況報告が行われ、さらに小樽主幹で行われる予定の野球大会について話し合われた。閉会の辞を加藤 樽歯会副会長が述べられ終了となった。
（山口大樹 記）

社会保険講習会
日時：平成30年11月２日(金)
　　午後７時より
場所：樽歯会館

市村 樽歯会会長の挨拶の後、道歯会 中川社会保険担当常務理事による標記講習会が行われ、平成30年度の診療報酬改定とその後出された疑義解釈について分かりやすく説明をされた。

診療終了後にも関わらず、多くの会員が参加され、活発な質疑応答が行われ盛況のうちに終了した。
（山口大樹 記）

小樽デンタルゴルフ部　ラストコール･納会
日時：平成30年11月３日(土･祝)
　　午前９時より
場所：小樽カントリー倶楽部 新コース

４月に始まった月例会もあっという間に11月のラストコールを迎えた。ここまで７戦を終え、谷向先生と千葉真弓 先生が52ポイントで並び、次いで高橋先生が46ポイントとなり、この３名が最終戦で年間チャンピオンを決することになった。またそれに続く４位争いも長谷川修三 先生、千葉　亘 先生、熊澤隆樹 先生のベテラン勢が熾烈な戦いをくりひろげる展開となった。当日は快晴で10月上旬並みの気温となり、風も無い最高のコンディションの下、和気藹々とした中で雌雄を決する戦いが行われた。

ラストコールの結果は、ネット74で千葉真弓 先生が優勝、ネット77で兵藤が準優勝、３位は高橋先生、４位に渋谷繁男先生、５位に長谷川修三 先生が滑り込み、年間チャンピオンは最後まで手を抜かずに有終の美を飾った千葉真弓 先生、準優勝は谷向先生、３位は高橋先生、４位は長谷川修三 先生となった。

午後６時より場所を小樽バインに変え、表彰式並びに納会が行われた。また今年、小樽カントリー倶楽部の倶楽部チャンピオンを高橋先生が、今年新設された女子倶楽部チャンピオンを千葉真弓 先生が勝ち取り、キングとクイーンが我が部から誕生したお祝いも、いつ果てるともなく行われた。ご両人おめでとうございます。　（兵藤博昭 記）

後志 SHIRIBESHI

第６回後志デンタルゴルフ
日時：平成30年９月29日(土)
場所：余市　エーブランドゴルフ場

例年なら熾烈なメダリスト争いが行われる最終戦。今年は土方プロがぶっちぎりで早々とメダリストを確定していたため、皆の興味はキシロカップ出場の上位８名に残ることに絞られた。

土方プロに続いて、中川プロ、長澤プロ、菊地プロ、佐藤プロは安泰。白鳥プロも出場さえすれば当確であったが、なんとなんと痛恨の遅刻で権利を失った。これで楽になった練合プロ、西崎プロ、原が出場権を手に入れた。

岡崎プロが補欠となり、欠席者がいれば出場となる。例年、欠席の佐藤プロが出場するかもとの噂の真相は如何に。

前回のキシロカップの19番ホールで大活躍の中村プロは「また、あのレモンサワー飲みたい」の願いも虚しく敗れ去った。

優勝は　中川プロが最終戦を見事に飾った。

		Out	In	Total	Hdcp	Net
優勝	中川　徹	45	46	91	20	71
準優勝	原　公一	45	41	86	12	74
1位	土方敬久	38	41	79	4	75
2位	練合哲哉	42	44	86	9	77
3位	西崎公一	50	51	101	20	81
4位	中村直喜	52	58	110	26	84
5位	岡﨑有志	58	51	109	23	86
6位	佐藤智賀志	55	55	110	20	90
BB	白鳥信一		49	NR		
BM	菊地　亮	DS				

（原　公一 記）

野球部･ゴルフ部納会
日時：平成30年９月29日(土)
場所：余市　エーブランドホテル

山田先生司会のもと、練合会長の挨拶に始まった納会は今年度の野球大会の反省、来年度の選手起用などお酒を酌み交わしながら大いに盛り上がった。

佐藤智賀志 先生からの高そうな美味しいワインの差し入れもあり、良い感じに酔いもまわった所で、今回の納会の余興を行わせていただいた。今回は２人１組になり、ゴルフのパッティングを行い、入る数を当てるというもの。酔いがかなりまわってるにもかかわらず、ゴルフ部の方々のみならず、ゴルフ部でない野球部の方々も素晴らしいパッティングを披露していた。（きっと、ここからゴルフ部に入ろうと思う方もでてきたはず・・・）

楽しい時間もあっという間に過ぎ、最後はこの日ゴルフに遅刻するという粗相を犯した私　白鳥の締めの挨拶にてお開きとなった。

最後に、謝罪の言葉を述べる場を与えてくださいましてありがとうございました。
（白鳥信一 記）

口腔衛生キャンペーン「いい歯の日2018」
日時：平成30年10月13日(土)
　　午後１時30分から午後３時30分
場所：倶知安町 後志総合振興局
　　１F 道民ホール 及び １F会議室
出席者：柏谷良雄、練合哲哉、中川　徹、
　　國本隆明、川端琢磨、土方敬久、
　　村山史生、山田一晴、五十嵐　豊、
　　望月真樹、望月岳志
　　（会員スタッフ10名）

・口腔衛生キャンペーン「いい歯の日2018」

キャンペーン参加者	76名
歯科健診	53名
フッ化物塗布	43名
お口の健康度チェック	
歯科ドック	17名
咬合圧測定	９名
口臭測定	７名
体験コーナー	
指模型	46名
ブラッシング指導	９名
位相差顕微鏡	19名

＊高齢者いい歯のコンクール実施を予定していたがエントリー無しのため実施はなかった。　（望月岳志 記）

平成30年度 ボウリング部 10月月例会
日時：平成30年10月16日(火)
　　午後８時から午後９時
場所：ファミリーボウル岩内

今大会は本大会が延期となったため、土方先生が急遽幹事として賞品を用意、地元余市の北島農場の豚肉が賞品となった。優勝は久しぶりの伊藤。先月の全日本歯科医師ボウリング大会のイメージをキープ。

準優勝は土方先生。来月は11月20日歯科医師会の年一回の本大会となる。
（伊藤　純 記）

		①	②	③	HDCP
優勝	伊藤	247	225	213	37→22
準優勝	土方	169	209	186	27→29
1位	青山	157	251	162	36→36
2位	長澤	222	192	214	35→28
3位	井筒	214	199	174	50→46
4位	山田	199	178	211	51→47
5位	中村	162	215	203	43→41
BB賞	黒田	204	212	185	45→40
BM賞	土方(妻)	210	188	176	64→61

HDCPは先月までの平均Aveと今回のAveとで平均Aveを出し200からの80％で算出している。

平成30年度 第４回 定例理事会
日時：平成30年10月25日(木)
　　午後７時30分より
場所：倶知安町 ホテル第一会館

各理事報告では中川副会長より「外国人患者に対応する地域意見交換会」についての報告があった。増える外国人患者への対応と問題点、さらに実際に外国人患者からのアンケートの回答をもとにディスカッションが行われたとのことだった。

（五十嵐　豊 記）